
平成 2 2 年度
熊本県文化企画課松橋収蔵庫活動報告

熊 本 県

目 次

1 展示活動

- (1) 文化企画課松橋収蔵庫企画展示 4
- (2) 館外(移動)展示 1 6

2 学習支援活動

- (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう 2 1
- (2) 熊本を知る講座 2 5
- (3) くまもと自然と文化の学芸員養成講座 2 7
- (4) キッズミュージアム 3 0
- (5) 移動体験教室及び講師派遣 3 0
- (6) 博物館実習職場体験等 3 1
- (7) ミュージアムパートナーズクラブ 3 2

3 資料収集整理活動

- (1) 各分野の資料収集、整理活動 3 3
- (2) 資料貸出 3 8

4 情報発信

- (1) 熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～ 3 9
- (2) 企画展示図録 4 0
- (3) 収蔵資料目録 4 0

5 資料

- (1) 平成22年度職員名簿 4 1
- (2) 文化企画課松橋収蔵庫平面図 4 2
- (3) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料利用要項 4 3
- (4) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫の団体利用要項 5 0
- (5) 学校・社会教育団体等への講師派遣要項 5 3

1 展示活動

(1) 文化企画課松橋収蔵庫企画展示

① ふたつの明治十年日記

- ・開催期間 平成22年5月12日～6月18日
- ・協力(資料借用) 熊本市立熊本博物館、玉名市立歴史博物館ころろピア、財団法人熊本城顕彰会
- ・観覧者数 595人
- ・展示趣旨

明治10年(1877)の西南戦争については、多くの従軍記等の関連資料が残されており、これまでも多数の著作物等でその戦争像が提示されてきた。松橋収蔵庫も、甲斐有雄「明治十年日記」(瀬井家資料)と安藤経俊「明治十年戦争概略晴雨日誌」(高森町安藤家資料)を収蔵している。2人は同地域(現阿蘇郡高森町)出身ながら、甲斐は政府軍軍夫として、安藤は薩軍熊本隊として西南戦争を体験しつつも、日常生活をたくましく送っている。2人の日記の記述をもとに西南戦争の推移を追い、民衆が体験した西南戦争という新たな戦争像を提示する。

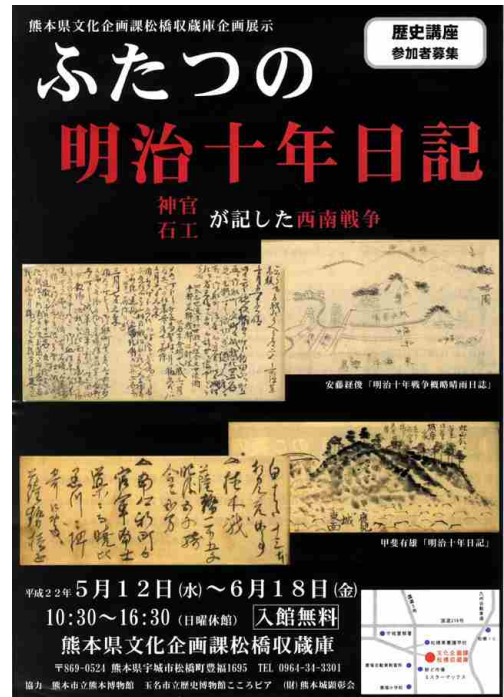
・展示構成と主な展示資料

1 安藤経俊・甲斐有雄と西南戦争

阿蘇郡高森出身の神官・安藤経俊と石工・甲斐有雄、本展示の主人公となる2人の経歴と残した日記について解説。

<展示資料>

甲斐有雄「明治十年日記」、安藤経俊「明治十年戦争概略晴雨日誌」、「安藤経俊一代ノ履歴草稿」、「(甲斐有雄)褒賞状」



2 熊本城炎上～御船の戦い

熊本城の炎上により西南戦争は本格的に開始されたが、安藤経俊が熊本隊へ身を投じ、田原坂や御船の戦いに参戦した経緯を解説。

<展示資料>

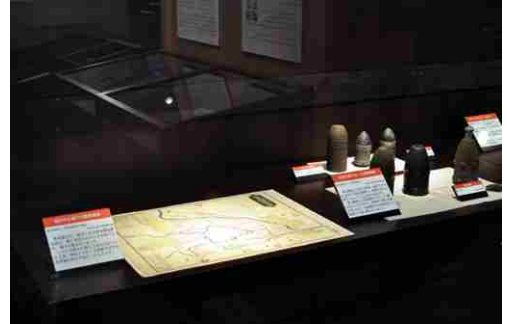
「明治十年熊本賊徒並隊名簿」、「御船附近戦闘要図」

3 西南戦争関連資料

西南戦争で使用されたさまざまな銃砲類や弾薬箱、被害状況を描いた絵図を展示し、国内最大の内戦である西南戦争の実態に迫る。

<展示資料>

「西南役両軍配備図」、「スナイドル銃」、「エンフィールド銃」



4 経俊の尾崎潜伏と軍夫有雄

一旦郷里へ戻った後に、再出立して尾崎村で潜伏生活を送った安藤経俊、政府軍軍夫として長い従軍生活を送ることになった甲斐有雄、2人の西南戦争終結までの行動を解説。

<展示資料>

「安藤経俊使用教科書」、「軍夫受払帳」、「政府軍投降勧告ビラ」

5 ふたつの日記こぼれ話

2人が残した日記や資料から、生々しい戦争の現実だけでなく、神官や石工としての普段の暮らしぶりを追う。

<展示資料>

「甲斐有雄狂歌集」、「尾下神社氏子札」



6 錦絵に見る西南戦争

数多くの錦絵が描かれた西南戦争だったが、リアルタイム速報として描かれたものや、作者の演出が含まれるものまでさまざまであった。

<展示資料>

錦絵「熊本城ノ将校賊軍嘲弄之図」、錦絵「鹿児島征討記聞 田原坂進撃ノ図」

・展示資料点数 38点

・関連行事

「歴史講座」

第1回 5月22日「甲斐有雄明治十年日記を読む」

講師 木山（職員）

第2回 5月29日「西郷・大久保の決別と西南戦争」

講師 福田賢治氏（鹿児島市維新ふるさと館館長）

第3回 6月5日「西南戦争遺跡発掘の最新情報」

講師 中原幹彦氏（熊本市教育委員会）

宮本千恵子氏（玉東町教育委員会）

・担当 田中、木山

② 昭和六年の展覧標本

- ・開催期間 平成22年7月24日～8月31日
- ・共催 熊本大学五高記念館
- ・後援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会
- ・観覧者数 497人
- ・展示概要

平成22年3月1日～5月31日熊本大学五高記念館で開催した「昭和六年の天覧標本」(P16参照)と同様の内容で開催。

- ・展示資料点数 105点
- ・関連行事

1 講演会「天覧標本と博物採集動員」

7月24日

講師 瀬井純雄氏(熊本記念植物採集会理事)

2 「夏休みの自由研究お助け隊」

対象 小学生(豊福小、松橋小、当尾小)

内容 夏休みの宿題の題材として、標本の作り方の指導と名前調べ。

3 「標本の名前を調べよう」8月20日～22日

対象 「夏休みの自由研究お助け隊」参加者

内容 作った標本の名前を調べ、自由研究の指導。

- ・担当 文化企画課 天野、前田
五高記念館 藤本秀子、薄田千穂、市原富代



③ ちょっと昔のくらし探検Ⅲ

- ・開催期間 平成22年9月10日～
11月30日
- ・後援 熊本県教育委員会
宇城市教育委員会
- ・協力（資料借用）熊本市立熊本博物館
- ・観覧者数 1807人
- ・展示趣旨

昭和30年代後半から40年代にかけて高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことが無いものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、暮らしの変化を実感する。

・展示構成と主な展示資料

1 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも竈に火を熾し、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介する。

<主な展示資料>

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱、醤油瓶



平成22年度第39回企画展

ちょっと昔のくらし探検Ⅲ

2010.09.10～11.30 10:30～16:30

熊本県文化企画課 松橋収蔵庫

宇城市松橋町豊福1695 Phone0964-34-3301

*日曜、祝日は休館です。



2 洗濯と裁縫

今では水道の蛇口を開けば水が出るというのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、タライで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介する。

<主な展示資料>

井戸の滑車、洗濯板、洗濯機、くけ台、足踏みミシン、仕事着、簀



3 より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介する。

＜主な展示資料＞

燭台、行灯、提灯、ランプ、電灯、火鉢、炬燵、湯たんぽ、電気行火

4 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介する。

＜主な展示資料＞

鍬、犁、田下駄、田植綱、ガンズメ、千歯抜き、足踏み脱穀機、箕、唐箕



5 山で働く

戦後の拡大造林期を経て、山は景観も変わり、仕事内容も機械の導入で大きく変わった。人の力で木を切り、板を切り出していた時代の山の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

山鋸、大鋸、切り斧、ハツリ斧、造林鎌、皮剥、鳶口、鑿、万力爪



6 海・川で働く

漁業も機械化、大型化で大きく変わった。沿岸漁業は衰退し、取る漁業から栽培する漁業への転換が図られている。機械化以前の海漁、川漁の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

餌木、擬餌鉤、蛸壺、魚伏籠、魚籠、ウナギ釜、鰻搔、鋤簾、やす

7 物を作る

現代はほとんどの身の回りの物は工場で作られたものを買ってくる時代である。昔は、それぞれの家で作る物が多かったが、家で作れない物も近くの職人さんに作ってもらっていた。そんな時代の職人の道具を紹介する

＜主な展示資料＞

桶屋道具、石工道具、左官道具

8 運ぶ 量る

自動車の普及で物を運ぶという作業はすっかり変わってしまった。また、お店で売っている



物も、目の前で量ってもらい買うということは少なくなった。少し昔の運搬と計量の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

背負梯子、畚、葛籠、買い物籠、升、棹秤

9 学びの道具

子どもの世界も昔とは様変わりした。昔の学びの道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

国語読本尋常小学校（M33）、尋常小学校修身（T9）、ナツヤスミノトモ（S8）、石版、算盤、足踏みオルガン

・ 展示資料数 167点

・ 特記事項

学校団体見学 15校 16回

（見学時には展示説明のほかとして天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけを実施）

高齢者福祉施設団体見学 25施設 54回

・ 関連行事

授業で使える昔の暮らしと道具 8月11日

対象 小学校教諭

内容 小学校3・4年生社会の「昔の暮らし」に関連する収蔵資料の説明と展示の団体見学、資料貸出等について説明

・ 担当 國本、迫田



④ くまもとの正月

- ・開催期間 平成23年1月4日～31日
- ・後援 熊本県教育委員会
宇城市教育委員会
- ・観覧者数 327人
- ・展示趣旨

正月は盆と並ぶ日本の年中行事の柱で、特別なご馳走や特別な飾りが作られる。正月を迎える準備段階から1月31日までの間には様々な行事が行われ、様々な飾り物や供え物が作られる。なぜこれほどまでに正月が日本の年中行事の中でも特に重要視されているのか、私たちはなぜそれほどに正月を大切にするのか、以上のことから日本人にとって正月とは何なのかを考える。展示では寄贈資料と写真をもとに県内の様々な正月行事を紹介し、行事に込められた人々の願いや祈り、熊本県の民俗文化の特徴、毎年繰り返される年中行事がもつ意味とそれを次世代に伝えることの大切さなどを伝える。

・展示構成と主な展示資料

1 年神を迎える

新しい年の初めには、門松や注連縄、餅飾りなど様々な飾り物や供え物が作られる。全国的にみても時代や地域によって千差万別だが、県内でも多種多様な飾り物や供え物が作られる。これらは先祖霊でもある年神様を迎えるためのものであり、供えること、供えたものを食することで年をとるといふ、正月本来の意味を探る。

<主な展示資料>

サワギ、オオバンザオ、農具の飾り、臼飾り、升飾り、年神様の札

2 正月に訪れるもの

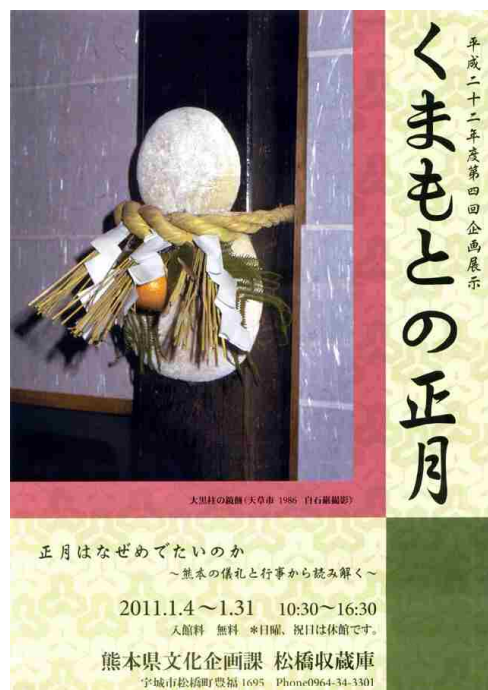
正月には扮装した若者や子どもが年神の代わりとして家々を訪れる行事が全国的に行われる。有名なものに秋田県のナマハゲ、中国地方のホトトギス・トヘトヘ、東北や九州のカセドリなどが知られている。県内でも子どもたちが主役となり、縁起物をもって家々を廻る行事がある。正月の神様はどのような形で訪れるのか、正月にやって来るものとは何かを探る。

<主な展示資料>

ウマツクリの馬、カセドウチの福俵、人形回しの人形

3 オニビとドンドヤ

正月の火祭りは期日によって年の晩、七日正月、小正月の3つに分けられ、九州の大部分の地域



では七日に火を焚くところが多いが、熊本県では南部は七日にオニビという名で、北部は小正月にドンドヤという名で火を焚く行事が行われることが多い。似たような火祭りだが目的は異なる。それぞれの持つ意味、二つの火祭りからわかる熊本の民俗文化の特徴を探る。

< 主な展示資料 >

写真パネルのみ

4 幸を願う

正月には農作業や山仕事、漁や商売、家庭内の仕事などをわずかに行ったり模倣したりしてその年の仕事もうまくいくように願う仕事はじめの行事を行ったり、農事に関係するものや豊作の様子を表したものを作って、今年の実りがこのようにあって欲しいと願ったり、作柄を占ったり、害獣が出ないよう祈願したりと、健康や繁栄、豊穰など様々な幸を願う行事の意味を探る。

< 主な展示資料 >

メーダゴ、シュンナメジョ、モグラウチ棒



5 十五夜綱引き

熊本県北部地域には小正月に綱引きを行う所がある。十五夜の晩の綱引きは全国的に行われるが、東北では小正月、関東から西では盆行事、熊本県南部を含む南九州や奄美では中秋の旧8月15日、沖縄では6月か8月の吉日に行うことが多く、熊本県北部の1月15日に行われる綱引きはその分布から熊本の民俗文化の特徴を探る。

< 主な展示資料 >

ボンデン、龍頭の付いた綱、大草履



・ 展示資料数 23点

・ 担当 國本、迫田

⑤ ふしぎな鉱物の世界

- ・開催期間 平成23年3月1日～5月14日
- ・観覧者数 79人（3月末日まで）
- ・展示趣旨

私たちが生活する地球は岩石でできており、その岩石は鉱物が集まってできている。また、鉱物は人間の生活に欠かせない鉄や銅、レアメタルのような金属などの物質の原材料でもある。このように鉱物は私たちの身近に存在し、また、生活に深く関わっている。しかし、「鉱物」というものがどのようなもので、どのような姿・形をしているかはあまり知られていない。松橋収蔵庫には、熊本大学工学部から寄贈された鉱物標本をはじめ、様々な鉱物標本が収蔵されている。そこで、3つのテーマに沿って、松橋収蔵庫に所蔵されている鉱物標本を使い、鉱物の本来の姿やその利用などについて展示紹介する。

・展示構成と主な展示資料

1 鉱物ってなんだろう？

① 鉱物とは

岩石と鉱物の関係や鉱物の定義について解説する。

＜主な展示資料＞

花崗閃緑岩、石英(水晶)、正長石、黒雲母、普通角閃石

② 化学組成による分類

鉱物の種類を決める要素の一つ、化学組成によるグループ分けについて解説し、グループごとに展示する。

＜主な展示資料＞

自然砒、黄鉄鉱、蛍石、輝安鉱、赤銅鉱、孔雀石、重晶石、スコロド石

③ 結晶系（結晶のタイプ）による分類

鉱物の種類を決めるもう一つの要素である、結晶系について解説し、結晶系のグループごとに展示する。

＜主な展示資料＞

鉄ばんざくろ石、スピネル、魚眼石、天青石、緑柱石、十字石、斧石、曹長石



④ なぜ同じ化学組成でちがう結晶構造になるのか

鉱物の結晶構造がもつ物理(圧力・温度)・化学(化学組成)的に安定な領域についてと、その結果生じる多形(同質異像)について紹介する。

<主な展示資料>

石英(水晶)、高温型石英、鱗珪石、クリストバル石

⑤ 鉱物のかたち(外形)、割れ方(劈開)、光の通り方(屈折)

鉱物がもつ様々な特徴のうち、見た目の形や割れ方、光の屈折について紹介する。

<主な展示資料>

石英(日本式双晶)、堇青石(桜石)、方解石、霏石、白雲母、トパーズ

⑥ 鉱物の硬さ(モース硬度)、重さ(比重)

鉱物がもつ様々な特徴のうち、硬さに関するモース硬度と重さに関する比重について紹介する。

<主な展示資料>

滑石、正長石、燐灰石、トパーズ、コランダム、ダイヤモンド、石墨、自然金

⑦ 鉱物の色(外観色、条痕色)、光沢

鉱物がもつ様々な特徴のうち、見た目の色(外観色)と鉱物の実際の色(条痕色)と光沢の種類について紹介する。

<主な展示資料>

石英(水晶、紫水晶、煙水晶)、赤鉄鉱、閃亜鉛鉱、金雲母、葉蠟石、自然硫黄

⑧ 蛍光

鉱物がもつ様々な特徴のうち、紫外線をあてると光る蛍光について紹介する。

<主な展示資料>

螢石、灰重石、方解石、珪酸亜鉛鉱、ゾイサイト、ハイドロジンサイト

⑨ 磁性

鉱物がもつ様々な特徴のうち、磁性について紹介する。

<主な展示資料>

磁鉄鉱

⑩ 鉱物と宝石、鉱石の関係

よく混乱したり間違えられやすい、鉱物と宝石、鉱石の違いについて紹介する。

<主な展示資料>

キースラーガー、金鉱石、黒鉱、石炭

2 生活の中の鉱物

鉱物は日常生活のなかで、重要な役割を果たしている。銅や鉄などの金属をはじめ、私たちの生活で使用されている様々な元素は、鉱物から採取されているものが多い。また、鉱物の性質を利用したクォーツ時計や、絵の具や化粧品、薬、お守りなど、鉱物は日常のなかで利用されてきた。



① 鉱物から元素を取り出して利用する

鉱物は生活の中で利用される様々な元素の原材料になっている。それぞれの元素の利用や、原材料の鉱物、コモンメタルやレアメタルについてなど紹介していく。

＜主な展示資料＞

黄鉄鉱、雲母鉄鉱、黄銅鉱、斑銅鉱、ボーキサイト、リチア雲母、輝安鉱、ホウ砂、クロム鉄鉱、自然白金、モナズ石、ゼノタイム



② 鉱物の性質を利用

石英(水晶)の振動を利用したクォーツ時計や、硬さと安定性を活かして様々な工業用品や製品に使われているコランダムなど鉱物の性質を利用した事例を紹介する。

＜主な展示資料＞

石英(水晶)、コランダム(ルビー、サファイア)、蛍石



③ 鉱物を使った絵の具

絵の具の顔料として利用されてきた鉱物、とくに日本画で利用されてきた岩絵の具の顔料として利用されてきた鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

孔雀石、藍銅鉱、赤鉄鉱、辰砂、鶏冠石、雄黄

④ 薬や化粧品として利用される鉱物

鉱物のなかには薬として利用されてきたものがある。また、化粧品の材料としても鉱物は使われている。薬や化粧品の材料として利用されている鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

白雲母、滑石、石英、カオリナイト、ドロマイト、重晶石、硬石膏、赤鉄鉱



⑤ 神秘的な鉱物

鉱物は見た目の美しさや神秘さから、昔から厄除けやお守りとして利用されてきた。その中で誕生石になっている鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

ざくろ石、緑柱石、ダイヤモンド、ひすい輝石、オパール、ラピスラズリ

3 熊本県でみつける鉱物

熊本県内には、マグマや溶岩が固まってできた火成岩、水の底などに泥や砂や礫がたまってできた堆積岩、高温の熱と高い圧力を受けて元々の岩石から別の岩石へ

と変わった変成岩、さらにそれぞれ古くは約4億4000万年前から新しいもので、つい最近にできたものなど、できた時代も種類も様々な岩石が分布している。それに伴い、これらの岩石を構成する鉱物もいろいろな種類のものを見ることができる。



① 荒尾・玉名・山鹿・菊池地域

熊本県北部の荒尾・玉名・山鹿・菊池地域にかけての地質の説明と、この地域で見つかる鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

石英、正長石、白雲母、石綿、方解石、ざくろ石、バラ輝石、霰石、濁沸石

② 阿蘇地域

阿蘇地域の地質と、この地域で見つかる鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

自然硫黄、褐鉄鉱、普通輝石、普通角閃石、濁沸石、霰石

③ 熊本県中央部地域

熊本県中央部、熊本・上益城・下益城・宇城(宇土半島は除く)地域の地質の説明と、この地域で見つかる鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

鱗珪石、藍鉄鉱、キースラーガー、アクチノ閃石、マグネサイト、コランダム

④ 熊本県南部・天草地域

熊本県南部(八代・芦北・球磨地域)ならびに天草地域(宇土半島も含む)の地質の説明と、この地域で見つかる鉱物を紹介する。

＜主な展示資料＞

陶石、電気石、方沸石、海緑石、マンガン鉱石、方解石、碧玉、ソロバン玉石

・ 展示資料数 312点

・ 関連行事

講演会「ふしぎな鉱物の世界」3月26日

講師 磯部博志氏(熊本大学大学院自然科学研究科准教授)

・ 担当 打越山

(2) 館外(移動)展示

① 昭和六年の展覧標本

- ・ **会場** 熊本大学五高記念館
- ・ **開催期間** 平成22年3月1日～5月31日
- ・ **共催** 熊本大学五高記念館
- ・ **後援** 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会
- ・ **観覧者数** 2707人
- ・ **展示趣旨**

昭和6(1931)年11月の昭和天皇熊本行幸の際に行われた、「聖駕奉迎熊本県動、植、鉱物採集動員」をとりあげ、この事業で児童、生徒そして教職員を中心に50万人以上が動員され、合計93万点もの標本が集められた様子やその後の熊本県の博物学の隆盛を、この事業の象徴ともいえる「天覧標本」をもちいて伝える。

また、博物採集動員が行われた昭和6年頃の標本が現代の私たちに伝えることを通して、現代社会における博物学の役割を伝える。

・ 展示構成と主な展示資料

1 聖駕奉迎熊本県動、植、鉱物採集動員とは

聖駕奉迎熊本県動、植、鉱物採集動員が行われた経緯、事業の進められかたなどの概要を解説。

<主な展示資料>

なし(パネルによる解説のみ)

2 天覧標本に見る熊本の自然

天覧標本を採集地域ごとに展示し、昭和6年当時に熊本の各地でどのような植物が身近に生育していたかを伝える。また、当時の写真(ガラス乾板)で当時の自然の様子を伝える。

<主な展示資料>

天覧標本(ミシマサイコ、オオマルバノテンニンソウ、天覧石材)、ガラス乾板より現像した写真



3 天覧標本作製に携わった人たち

事業の推進に大きく携わった、田代善太郎、前原勘次郎、上妻博之を紹介した。また、田代善太郎日記から事業の推進に奔走する様子を伝える。

＜主な展示資料＞

なし（パネルによる解説のみ）

4 その後の博物学の隆盛

聖駕奉迎熊本県動、植、鉱物採集動員後に立ち上げられた「聖駕奉迎博物採集動員記念採集会（現熊本記念植物採集会）」や昭和30年頃の写真を用い、植物採集をはじめとする熊本県における博物学に関わる活動の隆盛を伝える。

＜主な展示資料＞

BOTANY（熊本記念植物採集会会報）

5 標本が私たちに伝えること

天覧標本と同時に見つかった昭和6年頃に作成された標本に、今では希少種に指定される種の標本も多数含まれていたことから、かつては身近に生育していた植物が次々と姿を消している現状を伝えた。さらに、そのことから標本を残すこと、記録を残すこと、ひいては自然科学や博物学の重要性を伝える。

＜主な展示資料＞

ハカマカズラ、ミノボロ、コウホネ他

・関連行事

- 1 講演会「天覧標本と熊本の博物学」5月8日 熊本大学工学部百周年記念館
講師 今江正知氏（熊本記念植物採集会名誉会長）
- 2 講座「熊本の博物学の歩み」（22年度開催分）
4月10日「熊本の植物学」
講師 中島典雄氏（熊本県自然保護関係団体協議会会長）
4月24日「天覧標本と熊本県植物誌」
講師 東矢力也氏（熊本記念植物採集会会長）

- ・担当 文化企画課 瀬井純雄（H21年度）、天野、前田
五高記念館 藤本秀子、薄田千穂、市原富代



② ふたつの明治十年日記

- ・ **会場** 熊本県立図書館
- ・ **開催期間** 平成22年6月21日～6月30日
- ・ **共催** 熊本県立図書館
- ・ **観覧者数** 不明
- ・ **概要** 企画展示「ふたつの明治十年日記」を会場に合わせて縮小し実施。
- ・ **展示資料点数** 13点
- ・ **担当** 田中、木山



③ 昔話の中の道具たち

- ・ **会場** 益城町交流情報センター
- ・ **開催期間** 平成22年8月5日～24日
- ・ **観覧者数** 不明
- ・ **展示趣旨**

図書館などでは昔話の読み聞かせの活動が盛んに行われているが、それを聞く子ども達は昔話に出てくる道具のほとんどを実際に見たこともない。子ども達が昔話により親しみがもてるよう、益城町に伝わる三つの昔話とそれにまつわる昔の道具を紹介する。



・ 展示構成と主な展示資料

1 木山のエンマさん

エンマさんが木山のやじゃあどんと着物を取り替え泥鰌すくいをするという「木山のエンマさん」という昔話を紹介し、「昔の仕事着」と「川漁の道具」というテーマで昔の道具を紹介。

<主な展示資料>

ドンザ、蓑、バッチョ笠、足半草履、肥ジョウケ、魚籠、鰻釜



2 田搔きの地蔵

女房がお産で人手が足りず田の代搔きができず困っている男をお地蔵さんが子どもに化けて手伝ってくれたという「田搔きの地蔵」という話を紹介し「田を耕す道具」、「牛馬を世話する道具」「お弁



当」というテーマで昔の道具を紹介。

＜主な展示資料＞

馬鍬、犁、肥後鍬、鼻繰り、蹄鉄、馬の草履、飯桶、水筒

③ 河童と政四六どん

政四六どんが荷物を運び終えた馬を冷やすため、川に馬を入れついでに馬の尻に釣り針を付け沢山の魚を捕ったことに怒った河童が相撲を挑む「河童と政四六どん」を紹介し、「荷物を運ぶ道具」、「河童とカワマツリ」というテーマで昔の道具やカワマツリの供え物を紹介。

＜主な展示資料＞

荷鞍、モッコ、背負い梯子、木山川に供えられるカワマツリの供え物

- ・ 展示資料点数 46点
- ・ 関連行事 展示説明会 8月14日
- ・ 担当 國本、迫田



④ 宇土の自然と多様性

- ・ 会場 宇土高校
- ・ 開催期間 平成22年10月8日～10日
- ・ 観覧者数 約200名
- ・ 展示概要

ダイサギやコサギなどサギ類5種の他、宇城地域に生息する動物を中心にの多様性について展示。

- ・ 展示資料点数 約200点
- ・ 特記事項 宇土高校文化祭の一環として開催
- ・ 担当 坂梨、免田



⑤ ちょっと昔のくらし探検

- ・ 会場 熊本大学五高記念館
- ・ 開催期間 平成23年1月19日～2月14日
- ・ 共催 熊本大学五高記念館
- ・ 観覧者数 558人
- ・ 概要

企画展示「ちょっと昔のくらし探検Ⅲ」を会場に合わせて縮小し実施。



・ 展示資料点数 145点

・ 特記事項

展示作業は熊本大学の博物館学の授業の一環として受講学生と一緒にいった。

・ 担当 國本、迫田



⑥ ちょっと昔のくらし探検

・ 会場 国指定重要文化財太田家住宅（多良木町）

・ 開催期間 平成23年2月22日～28日

・ 共催 多良木町、多良木町教育委員会

・ 観覧者数 272人

・ 概要

企画展示「ちょっと昔のくらし探検Ⅲ」のうち「台所今昔」「洗濯と裁縫」「より明るくより暖かく」を会場に合わせて縮小し実施。

・ 展示資料点数 56点

・ 特記事項 小学校団体見学2校

・ 担当 國本、迫田



2 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！

さまざまな魅力を秘めた熊本の自然に触れ、学ぶ家族向けの観察会。

① 春の渡り鳥観察会

- ・ 日時 5月16日 9:00～11:00
- ・ 場所 荒尾市 荒尾海岸（集合場所 JR南荒尾駅）
- ・ 参加人数 28人
- ・ 概要

県内でも有数の渡り中継地である荒尾市荒尾海岸にて渡り鳥の観察会を行った。参加者はハマシギなど小型の鳥たちがはるばる1万km以上もの旅をすることに驚き、望遠鏡などでの観察では興味を持って鳥たちを観察する姿が見られた。その際、鳥たちの足にあるバンドの意味を知り、渡りのスケールの大きさを感じられたようだった。

- ・ 担当（講師） 坂梨、免田



② 海辺の植物を観察しよう

- ・ 日時 6月6日 10:00～12:30
- ・ 場所 上天草市 樋合島（集合場所 樋合島海水浴場駐車場）
- ・ 参加人数 28人
- ・ 概要

干潮時だけ陸続きとなる高杣島の海岸を歩きながら、海辺に生育する植物を観察した。植物の名前のほか、葉の厚さや硬さ、根の長さなどが海辺の生活にどのように関係しているかを参加者に考えてもらい、その後解説した。

- ・ 担当（講師） 天野、前田



③ 水辺の生き物観察会

- ・日時 6月13日 10:00～12:00
- ・場所及び集合場所 嘉島町 浮島周辺(集合場所 浮島周辺水辺公園東側駐車場)
- ・参加者数 33人
- ・概要
嘉島町の浮島神社にて、水辺および水中に生息する生物の観察会を行った。双眼鏡などでの観察では、カイツブリの親子と巣を観察することができた。後半の採集観察では、池でカダヤシなどの観察ができ、用水路では子ナマズやドンコ、ザリガニなどさらに多くの生物を発見することができた。
- ・担当(講師) 坂梨、免田

④ 海の生きものの観察会

- ・日時 7月25日 12:30～14:30
- ・場所及び集合場所 天草市 下須島(集合場所「南風ん風」元天附中学校)
- ・参加者数 34人
- ・講師 松本達也氏(貝類研究家)
矢田正海氏(貝類研究家)
- ・概要



- 天草市牛深町の先、下須島枇杷首海岸にて観察会を行った。磯観察のコツや牛深の海の特徴などについて解説を聞いた後、それぞれが自由に海岸沿いを探索し、様々な貝類や海産小動物などを発見することができた。最後に、松本氏による解説が発見された種の一部について行われた。
- ・担当 坂梨、免田

⑤ 夏の大三角とブラックホールの観察

- ・日時 7月31日 19:30～22:00
- ・場所及び集合場所 熊本市城南町 熊本県民天文台
- ・講師 艶島敬昭氏(熊本県民天文台台長) 他
- ・参加者数 92人
- ・概要

参加者の方々へ夏の星空やブラックホールについての概要が説明された後、県民天文台の大型望遠鏡で、実際にベガやアルタイル、はくちょう座X1のブラックホ

ールを観望を楽しんだ。

- ・担当 御厨、打越山

⑥ 河原の石の観察会

- ・日時 8月7日 10:00～12:00
- ・場所及び集合場所 人吉市 球磨川（集合場所 中川原駐車場）
- ・講師 岩崎泰颯氏（熊本大学名誉教授）
- ・参加者数 19人
- ・概要

参加者の方々が河原で石の色や模様などを見ながら石を集め、その後木陰で集めてきた石をじっくり観察し、石の名前を考えた。最期に石の種類やその特徴、石ころが上流のどのような地層からやってきたと考えられるかについて解説した。

- ・担当 坂梨、打越山



⑦ 夏の天の川とペルセウス座流星群

- ・日時 8月12日 19:30～22:00
- ・場所及び集合場所 熊本市城南町 熊本県民天文台
- ・講師 艶島敬昭氏（熊本県民天文台台長）他
- ・参加者数 85人
- ・概要

夏の天の川周辺の星々についての解説や星にまつわる神話などの講話があった後、県民天文台の大型望遠鏡でそれらの星の観望を楽しむとともに、ペルセウス座流星群が数回、夜空に流れるのを楽しんだ。

- ・担当 御厨、打越山

⑧ 中秋の名月を見よう、写そう

- ・日時 9月22日 18:30～21:00
- ・場所及び集合場所 熊本市城南町 熊本県民天文台
- ・講師 艶島敬昭氏（熊本県民天文台台長）他
- ・参加者数 21人



- ・ 概要

あいにくの曇天で参加者は少なかったが、雲の合間から時折、中秋の名月を見ることができた。大型望遠鏡や小型の屈折望遠鏡に、直接参加者持参のデジタルカメラや携帯電話のカメラをつけて、月の撮影も楽しんだ。

- ・ 担当 御厨、打越山

⑨ いろんな葉っぱを見つけよう

- ・ 日時 9月26日 10:00～12:30

- ・ 場所及び集合場所 熊本市 立田山（集合場所お祭り広場駐車場）

- ・ 参加者数 20人

- ・ 概要

遊歩道沿いにある木本植物を対象に観察会を行い、いろいろな形の葉があることを確認しながら葉を採集した。観察会を終えた後は、採集した葉を形でグループ分けし、学習シートに貼り付けてまとめとした。

- ・ 担当（講師）天野、前田



⑩ 地形・地質の観察会

- ・ 日時 11月21日 10:00～12:00

- ・ 場所及び集合場所 熊本市富合町 雁回山（集合場所 雁回公園）

- ・ 参加者数 20人

- ・ 概要

雁回山の遊歩道を地形図を見ながら歩き、実際にみえる地形と、地形図上の尾根や谷の位置・方向を比べ、地形図上での現在地を確認し、自分の歩いたルートを地形図に書き込みながら歩いた。途中、雁回山をつくる岩石の観察、雁回山をつくる地層や雁回山の形と地層との関係などについて解説を行った。

- ・ 担当（講師）坂梨、打越山



⑪ どんぐりで遊ぼう

- ・ 日時 11月28日 10:00～12:30

- ・ **場所及び集合場所** 文化企画課松橋収蔵庫
- ・ **参加者数** 23人
- ・ **概要**

ドングリの形や種類、生活史などの講話を行った後、収蔵庫敷地内でドングリの観察と採集を行った。観察では、ドングリの形や殻斗の模様、葉の形を解説した。観察会後は、拾ったドングリと用意したドングリで工作をおこなった。

- ・ **担当（講師）** 天野、前田



⑫ 化石の観察会

- ・ **日時** 12月19日 13:00～15:00
- ・ **場所及び集合場所** 上天草市 千歳山（集合場所 千歳山展望駐車場）
- ・ **講師** 岩崎泰颯氏（熊本大学名誉教授）
- ・ **参加者数** 25人
- ・ **概要**

まず講師の岩崎氏から千歳山周辺の地質の解説、観察会を行う地点（千歳山中腹）の地質的な位置について解説頂いた。その後実際の観察地点へ移り、参加者各々で化石を探した。見つけた化石は随時可能な範囲で名前をつけていき、最期に化石ラベルの書き方や保存方法について説明を行った。

- ・ **担当者** 坂梨、打越山



(2) 熊本を知る講座

熊本の自然や文化について学ぶ松橋収蔵庫で行う一般向けの講座。

① 古文書読み解き講座 実践編

- ・ **開催日時** 平成22年5月～平成23年2月の第3土曜日（計10回）
- ・ **講師** 松本寿三郎氏（元熊本大学教授）
- ・ **参加者数** 33人
- ・ **趣旨**

受講者が古文書についての基礎知識や読解力を



身に付け、その背景にある熊本の歴史に対しても興味・関心を持つことができる講座を設ける。外部講師を招聘し、将来的に松橋収蔵庫や他博物館等の資料整理を補助できる人材を育成することを目指す。

- ・ **使用史料**

「肥後名勝略記 上 写」(森下功氏旧蔵資料)

「御家中先祖書拔書 有吉家記 写」(森下功氏旧蔵資料)

「澤村大学覚書并一代書附 写」(森下功氏旧蔵資料)

「大師廻り」(松本寿三郎氏提供)

- ・ **担当** 田中、木山

② 古文書読み解き講座 入門編

- ・ **開催日** 平成22年9月～平成23年2月の第3土曜日(計6回)

- ・ **参加者数** 15人

- ・ **趣旨**

松橋収蔵庫本課が所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。特に、未経験者を対象に受講者を募集し、歴史資料保存の重要性と熊本の歴史・文化についての理解を深め、松橋収蔵庫における博物館活動の充実を図る。

- ・ **使用史料**

「肥後物語写」(森下功氏旧蔵資料)

「(嘉永六年閏正月)手鑑帳」(森下功氏旧蔵資料)

「肥後国郡手永村并高覚」(森下功氏旧蔵資料)

「御家中御知行高附」(森下功氏旧蔵資料)

「旅人立着御届帳(抜粋)」(森下功氏旧蔵資料)

- ・ **担当(講師)** 田中、木山

③ 草木染体験講座



- ・ **開催日** 平成22年5月～平成23年9月の第4土曜日(計5回)

- ・ **参加者数** 24人

- ・ **趣旨**

化学染料が普及するまで私たちの衣服の多くは植物染料により染められていた。伝統的な草木染を身近な植物を使って体験する講座。

・ 各回の内容

- 5月22日 ヨモギを使ってエコバックの絞り染め
- 6月25日 コースターに豆乳で絵を描いてヤマモモの実と葉で染める
- 7月17日 藍の感想葉でストールを染める
- 8月28日 タマネギを使って手ぬぐいをろうけつ染めで染める
- 9月25日 藍の生葉と桜の葉でストールを染める

・ 担当（講師） 國本、迫田

(3) 熊本自然と文化の学芸員養成講座

身近な自然・文化資源について調査研究に取り組みたいという方々を対象に自然分野、歴史分野、伝承文化分野の3講座を開催し、講座修了者を「くまもと自然と文化の学芸員」としての認定する事業。熊本の自然・文化資源の活用及び県内外への情報発信や県民参加の博物館活動のリーダーを育成することを目的とする。

(自然分野)

・ 会場 文化企画課松橋収蔵庫及び雁回山

・ 開催日 平成22年6月～平成23年3月第4木曜（計11回）

・ 認定者数 33人

・ 各回の概要

- 6月10日 開講式、講義①講座ガイダンス、収蔵庫見学(松橋収蔵庫)
- 6月24日 実習①植物観察及び植物標本の作り方(雁回山及び松橋収蔵庫)
- 7月22日 実習②動物標本及び岩石標本の作り方(松橋収蔵庫)
- 8月26日 講座②生物写真の考え方とその実際
実習③生物写真の撮り方(松橋収蔵庫)
講師 津田堅之介氏(動物写真家)
- 9月16日 実習④植物観察及び標本作製(雁回山)
- 10月7日 実習⑤鳥類調査の方法(雁回山)
- 11月25日 実習⑥地形図の読み方(雁回山)
- 12月16日 実習⑦地質調査の方法・堆積岩編(雁回山)
- 1月13日 講座③鳥インフルエンザについて(【松橋収蔵庫】)



2月3日 実習⑧鳥類識別にチャレンジ2（花園池、立岡池）

講座③人々の自然利用（松橋収蔵庫）

講師 永田瑞穂氏（崇城大学非常勤講師）

3月24日 実習⑨植物観察（雁回山）

・担当（講師） 坂梨、天野、守嶋、御厨、前田、打越山、免田

（歴史分野）

・共催 熊本大学五高記念館

・会場 熊本大学五高記念館

・開催日 平成22年6月～平成23年2月第2金曜日（計9回）

・認定者数 21人

・各回の概要

6月11日 開講式

「熊本の歴史の魅力」

講師 松本寿三郎氏（元熊本大学教授）

7月9日 「古文書の調書のとり方」

講師 稲葉継陽氏（熊本大学文学部附属永青文庫研究センター教授）

8月13日 施設見学 松橋収蔵庫

現地研修「宇城市の史跡・資料館見学」

案内 村井眞輝氏（宇城市文化財保護委員）

市丸かな子氏（小川郷土資料館職員）

小田 勝 氏（小川の歴史を学ぶ会）

9月24日 「拓本のとり方（1）」

講師 岩崎竹彦氏（熊本大学五高記念館准教授）

10月22日 「拓本のとり方（2）」

講師 岩崎竹彦氏（熊本大学五高記念館准教授）

11月12日 現地研修「南関・荒尾の史跡見学」

案内 宮尾洋一氏（南関宿場町伝楽人会長）

松永源六郎氏（松永刀剣鍛錬所代表）

12月10日 「自主調査の進め方」

班別協議「地域に残る歴史資源の魅力をどのように紹介、次世代へ伝えていくか」

1月21日 班別協議「自主調査中間報告」

2月10日 班別協議「自主調査結果報告」



- ・ 担当(講師) 田中、木山

(伝承文化分野)

- ・ 共催 荒尾総合文化センター
- ・ 会場 荒尾総合文化センター
- ・ 開催日 平成22年6月～平成23年2月第4金曜日(計9回)
- ・ 認定者数 4人
- ・ 各回の内容

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 6月25日 | 参加者自己紹介
講座：「郷土で研究すること～民俗学とは～」 |
| 7月23日 | 講座：「暦とは」
受講者報告「子どもの頃の遊び」 |
| 8月27日 | 講座：「民俗調査の手法」 |
| 9月24日 | 講座：「熊本県の月見行事」
受講者調査報告会「荒尾の月見行事」 |
| 10月22日 | 講座：「荒尾玉名の民俗芸能」 |
| 11月26日 | 講座：「荒尾の山の神」 |
| 12月24日 | 講座：「くまもとの正月」
受講者報告「正月行事の思い出」 |
| 1月28日 | 講座：「くまもとの雑煮」
受講者調査報告会「雑煮と正月料理」 |
| 2月25日 | 調査レポート発表会 |



- ・ 担当(講師) 國本、迫田

(合同修了式)

- ・ 期日 3月12日
- ・ 会場 熊本県立劇場大会議室
- ・ 参加者 62名
- ・ 記念講演 「博物館の過去・現在・未来」
～「くまもと自然と文化の学芸員」に期待する～
講師 岩槻 邦男氏(兵庫県立人と自然の博物館館長)
- ・ 活動報告 古川豊氏(自然)、岡村洋満氏(伝承文化)、木下栄氏(歴史)

(4) キッズミュージアム

夏休みに楽しく遊びながら自然や科学、歴史、伝統文化について体験する子ども向けのプログラム。

- ・ **会場** 文化企画課松橋収蔵庫
- ・ **開催日** 平成22年7月24、25、31日、
8月1、7、8日（計6日）
- ・ **参加者数** 453人
- ・ **体験メニュー**

7月24日 セミのぬけがら探し、火おこし体験、竹でっぼうを作って遊ぼう、土の中の生き物、どんぐりクッキーづくり、木の実で遊ぼう

7月25日 葉脈標本づくり、クズを編んで工作しよう、石のペンダントを作ろう、水でっぼうを作って遊ぼう、世界に一つだけのオリジナルハンカチ・エコバッグを作ろう、化石のクリーニングをやってみよう

7月31日 手作り紙飛行機で記録に挑戦、光を分解してみよう、スライムを作ろう、紙コプターを飛ばそう、紙のホイッスルを作ろう

8月1日 バルーンスライムを作ろう、牛乳パックプリンクラー、バランスおもちゃを作ろう、紙のブーメランを飛ばそう、シャボン玉で遊ぼう

8月7日 セタの供え物ミョウガ団子を作ろう、縄文土器作り、空飛ぶ種、豆乳で絵がかける？ー草木染め体験ー、ペットボトル顕微鏡をつくろう

8月8日 恐竜クラフトを作ろう、昆虫採集・標本づくり、陣笠づくり、化石レプリカづくり、石臼でキナコ団子づくり



(5) 移動体験教室及び講師派遣

移動体験教室はPTAや子ども会などにキッズミュージアムのメニューから多数で同時に体験できるメニューを出前する事業。講師派遣は学校の授業や公民館

などの生涯教育機関等に講師を派遣するもの。

① 移動体験教室

6月19日	熊本市立帯山西小学校PTA（2年）	空飛ぶ種
6月20日	芦北町立田浦小学校PTA（4年）	草木染め
7月4日	御船町立小坂小学校PTA（4年）	草木染め
7月18日	城南母子会	化石レプリカ作り
9月25日	南小国町立中原小学校PTA（1・2年）	ドングリで遊ぼう
10月31日	熊本市立富合小PTA（5年）	化石レプリカ作り
11月5日	阿蘇市立碧水小学校放課後子ども教室	ドングリで遊ぼう
1月29日	荒尾市立桜山小学校PTA（5年）	化石レプリカ作り
2月26日	熊本市立月出小学校PTA（4年）	空飛ぶ種

② 講師派遣

5月25～27日	熊本県立宇土中学校	自然観察（キャンプ）
8月22日	益城町交流情報センター	化石レプリカ作り
9月15日	宇城市立不知火小学校5年	草木染め
9月11日	山都町井無田池キャンプ場	自然観察
10月6日	熊本県立宇土高校3年（理系）特別授業「生物の多様性と分類・系統」（10月20日、11月10日、12月1日の回連続授業）	
10月7日	飽田公民館子どもチャレンジクラブ	草木染め
11月7日	宇土花園小4年	空飛ぶ種、化石レプリカ作り、石臼でキナコ団子づくり

(6) 博物館実習、職場体験等

① 博物館実習

- ・ 期間 平成22年9月7日～17日（うち7日間）
- ・ 受入学生 熊本大学3年 7人
- ・ 実習内容

7日	午前	オリエンテーション
	午後	施設見学、写真撮影実習
8日	午前	展示製作実習（展示台セッティング、展示資料搬入）
	午後	〃（写真パネル、キャプション制作）

- 9日 午前 展示製作実習（資料列品 ライティング）
- 10日 資料整理実習（分野別）
- 11日 学習支援実習（草木染の会）＊希望者のみ
- 12日～16日前 分野別 資料整理実習
- 17日 午前 分野別 資料整理実習
- 午後 課題（「私が理想とする地域博物館」）発表会
意見交換会

②中学生職場体験

- ・期間 平成22年9月28日～29日
- ・受入生徒 熊本県立宇土中学校 2年 10人
- ・体験内容 歴史、民俗、動物、植物、地学各分野の資料整理

③熊本県知的障がい者精神障がい者インターンシップ

- ・期間 平成22年9月28日～29日
- ・受入生 23歳男性 1名
- ・体験内容 歴史、民俗、動物、植物、地学、図書各分野の資料整理

(7)ミュージアムパートナーズクラブ

県民参加の博物館活動を進めるための県民の皆様誰でも入会できるクラブ。松橋収蔵庫などでの催し物の案内等が受けられる他、様々な自主活動を松橋収蔵庫を使って行える。現在は「資料整理グループ」と「草木染めの会」が活動している。

- ・登録者数 117名（平成23年3月現在）
- ・活動内容
 - 「資料整理グループ」
 - ・活動人数 9人
 - ・活動日 毎週火曜日
 - ・活動内容 資料のクリーニング、調書作成及び情報入力等
収蔵環境整備（害虫調査等）、屋外環境整備（清掃等）等
 - 「草木染めの会」
 - ・活動人数 15人
 - ・活動日 毎月第2土曜日
 - ・活動内容 熊本の植物を使っての草木染めの実践
藍の栽培と藍染めの実践
キッズミュージアムでの「草木染め」運営

3 資料収集整理活動

(1) 各分野の資料収集、整理活動 (平成23年3月31日現在)

① 動物

・現在の資料収蔵点数

立志徹郎氏寄贈貝類標本	約100,000点
河川水辺の国勢調査成果品	約1,000点
入江氏委託動物標本	約800点
入江切手コレクション	約3,000点
宇土高校寄贈液浸標本	約100点
済々黌高校寄贈液浸標本	約2,500点
熊本大学教育学部寄贈液浸標本	約500点
その他	約12,000点
計	約120,000点

・平成22年度の受入点数

荒木定氏所有動物剥製	16点
鳥獣保護センター所有冷凍鳥獣	約50点
その他冷凍鳥獣等	3点

・資料登録点数

分類群	乾燥（剥製等）	液浸	計
NB11哺乳類	143	97	240
NB12鳥類	804	1	805
NB13両生・爬虫類	11	288	299
NB14魚類	18	1,740	1,578
NB15昆虫類	1,693	338	2,031
NB16多足類	3	462	465
NB17甲殻類	2	778	780
NB18軟体動物	3,740	225	3,965
NB19その他分類群	5	20	25
計	6,419	3,949	10,368

・平成22年度作業内容

剥製および冷凍鳥獣受け入れ、液浸標本作製および登録、乾燥昆虫標本作製および登

録、立志貝類標本登録・収納および複標本分類整理、生物小資料室資料配架変更、液浸標本保管室資料配架変更

② 植物

・ 現在の資料収蔵点数 約 26 万点

・ 平成 22 年度の寄贈資料

瀬井純雄採集標本	約 1200 点
富田壽人採集標本	約 2850 点
東矢力也採集標本	8 点
河上昭夫採集標本	1 点
畑中幸二郎採集標本	7 点
前原勘次郎採集標本	約 20,000 点
フェイス女学院収蔵標本	約 500 点
計	約 30,000 点

・ 登録点数

NB2 (植物) :	102,882 点
NB3 (菌類) :	1,835 点
NB4 (藻類) :	45 点
計	104,762 点

・ 平成 22 年度の主な整理登録作業

- ・ 熊本大学標本 (シダ・種子) の登録内容確認、修復、登録
- ・ 熊本大学標本 (採集者別) 台紙マウント、ラベル貼り付け
- ・ 熊本大学教育学部、師範学校標本 (天覧標本を含む) の登録、デジタル画像取り込み

③ 地質

・ 現在の資料収蔵点数

今西茂標本	約 1,500 点
長谷義隆標本	約 10,000 点
アトラスくまもと標本	174 点
荒尾宏岩石標本	200 点
熊本大学理学部地学科進級論文標本	約 4,700 点
河野通幸化石標本	217 点
岩崎泰顕標本	約 6,500 点

津末昭生標本	約4, 300点
熊本大学工学部標本	約10, 000点
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	約5, 300点
村田正文標本	約1, 100点
遠藤誠道植物化石標本	約600点
斉藤林次標本	約200点
早田幸作標本	約200点
千藤忠昌標本	約1, 300点
植田和男標本	約100点
フェイス女学院松本唯一標本	約270点
その他(少数寄贈、職員製作など)	約50点
計	約46, 000点

・平成22年度寄贈資料

植田和男標本	約100点
フェイス女学院松本唯一標本	約270点

・登録点数

大分類	小分類	登録済み点数
岩石	堆積岩	1, 102
	火成岩	1, 130
	変成岩	380
	岩石／その他	75
鉱物・鉱石	元素鉱物	23
	硫化鉱物	40
	ハロゲン化鉱物	9
	酸化・水酸化鉱物	74
	炭酸塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	31
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	13
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	13
	珪酸塩鉱物	54
	鉱物／その他	46
植物化石	被子植物	73
	裸子植物	19
	シダ植物	13
	植物化石／その他	27
動物化石	脊椎動物	59
	原索動物	4
	棘皮動物	69
	節足動物	30
	軟体動物	779

	腕足動物	70
	刺胞動物	63
	動物化石／その他	29
微化石	微化石／動物	18
	微化石／植物	4
	微化石／その他	1
現生標本	現生／動物	0
	現生／植物	0
	現生／その他	0
その他	写真・スライド	0
	その他	0
合計		4,248

・平成22年度整理登録作業

新規受入標本の整理

熊本大学工学部鉱物標本の整理・登録

岩崎泰頼標本の整理済分の登録

展示など使用標本の登録

④ 歴史

・現在の資料収蔵点数

辛島家資料 25,035点

下山家資料 2,977点

森下功氏旧蔵資料 1,064点

嘉島町安藤家資料 712点

その他 9,372点

計 39,160点

・平成22年度寄贈資料

村井眞輝氏寄贈資料（1点）、緒方満氏寄贈資料（39点）、支那事变貯蓄債券報国債券（1点）、廣吉秀澄氏寄贈資料（6点）、質地証文類資料（約300点）

・登録点数 2,947点

・平成22年度の主な整理登録作業

高森町安藤家資料整理台帳の見直し・修正及び諸家資料（平成22年度寄贈資料など）の整理・登録

⑤ 民俗

・資料収集点数及び登録点数

大分類	小分類	収集点数(概数)	登録済点数
衣食住	衣	3 8 0	2 1 2
	食	8 2 0	4 4 1
	住	2 4 0	2 2 2
生産生業	自然物採集	1 7	1 7
	農業	6 8 0	6 7 7
	山樵	1 3 2	1 3 2
	採鉱・冶金	1 0	1 0
	漁撈・製塩	1 4 0	1 3 9
	狩猟	1 0	1 0
	養蚕・牧畜	1 8 3	1 8 3
	繊維	8 2	8 2
	諸職・手工芸	3 8 1	3 8 1
交通交易	交通	1 5 0	1 4 2
	交易	7 0	6 9
社会	社会	2 0	1 9
信仰	神社	8	8
	寺院	4 2	4 2
	民間信仰	2 5	2 5
民俗知識	教育	4 0	1 5
	医療	3 0	1 4
	暦	5	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	4 0	3 8
儀礼	年中行事	4 9	4 9
	人生儀礼	4 0	3 7
小計		3 , 5 9 4	2 , 9 6 9
写真資料		1 5 4 , 4 0 0	2 , 8 1 0
合 計		1 5 7 , 9 9 4	4 , 7 7 9

・平成22年度寄贈資料

衣食住関係約160点、生産生業関係5点、交通交易関係2点、信仰関係2点、年

中行事関係 12 点を収集

・ **平成 22 年度整理登録作業**

食関係資料、年中行事資料等約 90 点整理登録及び写真資料については白石写真モノクロデータベース作成(作業中)。また、白石写真 584 点をデジタル化、869 点を登録

(2) 資料貸出

5 月 福岡エココミュニケーション学園 動物剥製標本 10 点

7 月 29 日 講談社 写真資料 1 点

9 月 13 日～24 日 杉島小学校 民俗資料 10 点

10 月 16 日～11 月 8 日 八幡小学校 民俗資料 38 点

11 月 8 日～12 日 走潟小学校 民俗資料 1 点

11 月 12 日～18 日 益城町交流情報センター 民俗資料 20 点

12 月 熊本城城彩苑 写真資料 15 点

4 情報発信活動

(1) 熊本の自然と文化～収蔵庫便り～

松橋収蔵庫で行う展示やイベント、収蔵資料の紹介などを行う広報誌で、年4回、2000部発行（A3二つ折り）。県庁ホームページでも公開。



① No.12 (Vol.4-1) 平成22年6月15日発行

<掲載記事>

- ・松橋収蔵庫リニューアル
- ・夏休みキッズミュージアムのお知らせ
- ・資料紹介「ミズカマキリ」
- ・資料紹介「オオキンケイギク」
- ・資料紹介「金峰山芳野層の藍鉄鉱」
- ・資料紹介「蚕籠」
- ・資料紹介「西南戦争錦絵 鹿児島英雄揃」



② No.13 (Vol.4-2) 平成22年9月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「ちよっと昔の暮らし探検Ⅲ」紹介
- ・夏休みキッズミュージアム報告
- ・資料紹介「下山群太翁十年之役官軍従事履歴」
- ・資料紹介「メリケントキンソウ」
- ・資料紹介「砥川溶岩」
- ・資料紹介「桑爪」
- ・資料紹介「ガムシ」



③ No.14 (Vol.4-3) 平成22年12月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「くまもとの正月」紹介
- ・企画展示「ちよっと昔の暮らし探検Ⅲ」報告
- ・資料紹介「ボタンウキクサ」
- ・資料紹介「メガロドン」
- ・資料紹介「族と族折り機」
- ・資料紹介「オオゲンゴロウ」
- ・資料紹介「瀬井家資料（甲斐有雄）道標建設記」



③ N o 1 4 (V o l 4 - 3) 平成 2 3 年 3 月 1 5 日 発行

< 掲載記事 >

- ・企画展示「ふしぎな鉱物の世界」紹介
- ・企画展示「くまもとの正月」報告
- ・資料紹介「宇城市松橋町豊福のコランダム」
- ・資料紹介「毛羽取り機」
- ・資料紹介「タガメ」
- ・資料紹介「細川幽斎書状（辛島家資料）」
- ・資料紹介「セイタカアワダチソウ」

(2) 企画展示図録

① 「ちょっと昔のくらし探検」

- ・ A 4 7 4 ページ 平成 2 2 年 9 月 1 0 日 発行
- ・ 県庁ホームページでも公開

② 「ふたつの明治十年日記」

- ・ A 4 2 0 2 ページ 平成 2 3 年 3 月 1 日 発行
- ・ 県庁ホームページでも公開

(3) 目録

① 「熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料目録 Vol.13 生物4」

入江照雄液浸標本・動物切手コレクション

- ・ A 4 2 4 3 ページ 平成 2 3 年 3 月 3 0 日 発行

② 「熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料目録 Vol.14 写真3」

白石巖撮影カラー写真 民俗(熊本[富合・城南]・上益城・宇城・八代)

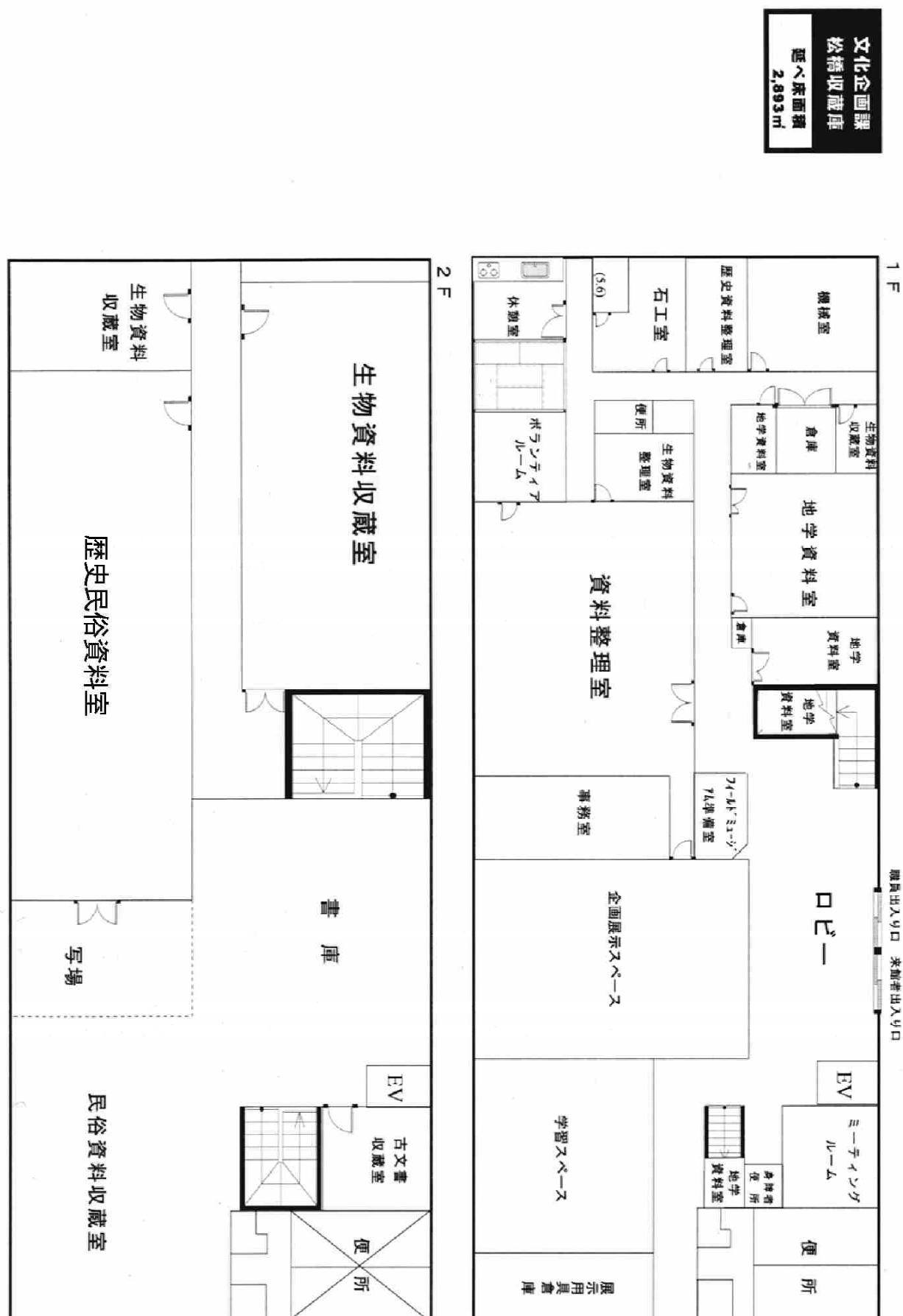
- ・ A 4 1 5 2 ページ 平成 2 3 年 3 月 3 0 日 発行

5 資 料

(1) 平成 22 年度職員名簿

文化企画課長	富永正純
文化企画課 政策審議員	大塚陽子
文化企画課博物館プロジェクト班	
課長補佐（班長）	中村啓一
主幹	守嶋正照
主幹（民俗）	國本信夫
参事（動物）	坂梨仁彦
参事	御厨眞
参事（植物）	天野守哉
主任主事（歴史）	田中孝行
博物館活動囑託（植物）	前田哲弥
博物館活動囑託（民俗）	迫田久美子
博物館活動囑託（地質）	打越山詩子
博物館活動囑託（歴史）	木山貴満
博物館活動囑託（動物）	免田隆大

(2) 松橋収蔵庫施設平面図



(3) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本県文化企画課松橋収蔵庫（以下「松橋収蔵庫」という。）が収蔵する資料を利用する場合（熊本県文化企画課職員（以下「文化企画課職員」という。）が業務として利用する場合を除く。）の手続きに関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の内容)

第2条 この要項で定める資料の利用とは、次のものをいう。

- (1) 資料の閲覧
- (2) 資料の借用
- (3) 資料の撮影及び撮影写真の公表

(利用の要件)

第3条 熊本県文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）は、資料利用の申請がある場合において、当該申請が次の全てに該当するときは、資料の利用を許可することができる。

- (1) 松橋収蔵庫の日常の業務に支障がないこと。
 - (2) 資料の取扱いについて、文化企画課職員の指示を守ることが約するものであること。
 - (3) 営利を目的としないこと。
 - (4) 政治的又は宗教的目的を持ってないこと。
 - (5) 利用に関する全ての経費を利用者が負担するものであること。
- 2 前項の規定にかかわらず、特に必要があるものと認められる場合は、申請に応じて資料の利用を許可することができる。

(資料の利用の申請)

第4条 資料の利用を希望する者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める申請書を文化企画課長に提出しなければならない。

- (1) 資料の閲覧を希望する者は、事前に閲覧申請書（別紙様式1）を提出しなければならない。
- (2) 資料の借用を希望する者は、借用を希望する日の1週間前までに資料借用申請書（別紙様式2）を提出しなければならない。
- (3) 資料の撮影及び撮影した写真の公開を希望する者は、撮影を希望する日又は撮影した写真を公開する予定の日の1週間前までに、資料の撮影及び撮影写真の公開申請書（別紙様式3）を提出しなければならない。

(許可の通知)

第5条 文化企画課長は、前条の申請の内容が適当と認められるときは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める通知を行うものとする。

- (1) 前条第2項に定める申請の場合 資料貸出承諾通知書(別紙様式4)
- (2) 前条第3項に定める申請の場合 資料貸出承諾通知書(別紙様式5)

(許可の取消し)

第6条 文化企画課長は次の各号のいずれかに該当するときは、第3条の許可を取消することができる。

- (1) 申請内容以外の利用があったとき。
- (2) 資料の取扱いについて文化企画課職員の指示を守らなかったとき。
- (3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(別紙様式1)

文化企画課松橋収蔵庫資料閲覧申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長様

住所(団体の場合は事務所の主たる所在地)
(団体の場合は団体名)
氏名(団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を閲覧したいので申請します。

1 閲覧目的

2 閲覧日時 年 月 日 時 ~ 時

3 閲覧希望人数

4 閲覧資料

名 称	資料点数	備考

5 閲覧者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

6 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・閲覧中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは閲覧者が負います。
- ・資料の撮影及びその写真を印刷物へ掲載する場合は別途申請します。

(別紙様式 2)

文化企画課松橋収蔵庫資料借用申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長様

住所 (団体の場合は事務所の主たる所在地)
(団体の場合は団体名)
氏名 (団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を借用したいので申請します。

1 借用目的

2 借用期間 年 月 日～ 年 月 日

3 借用資料

名 称	資料点数	備考

4 借用責任者連絡先
(氏名)
(電話番号)
(E-mailアドレス)

5 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・借用中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは借用者が負います。
- ・資料を展示する場合は所有者名として「熊本県 (文化企画課松橋収蔵庫)」と明示します。
- ・資料の撮影及びその写真を印刷物へ掲載する場合は別途申請します。

(別紙様式3)

文化企画課松橋収蔵庫資料撮影及び撮影写真の公開申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長様

住所(団体の場合は事務所の主たる所在地)
(団体の場合は団体名)
氏名(団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を撮影及び撮影写真の公開をしたいので申請します。

1 撮影及び撮影写真の公開の目的

2 撮影写真公開の方法

3 撮影日時 年 月 日 時 ~ 年 月 日 時

4 撮影及び撮影写真の公開を行う資料

名 称	資料点数	備考

4 撮影及び公開の責任者連絡先
(氏名)
(電話番号)
(E-mailアドレス)

5 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・資料撮影中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは撮影者が負います。
- ・写真を公開する場合は所有者名として「熊本県(文化企画課松橋収蔵庫)」と明示します。
- ・撮影した写真をこの申請内容以外で公開する場合は別途申請します。

(別紙様式4)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長

文化企画課松橋収蔵庫資料貸出承諾書

平成21年7月14日付けで申請がありました資料の貸出については下記のとおり許可します。

記

1 貸出期間 平成21年7月14日～平成21年9月3日

2 貸出資料

3 その他

貸出前、貸出期間中であっても下記に該当する場合は、貸出許可を取り消すことがありますのでご了承ください。

(1) 申請内容が遵守されなかったとき。

(2) 申請内容以外の利用があったとき。

(3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

(別紙様式5)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長

文化企画課松橋収蔵庫資料撮影及び撮影写真の公開承諾書

平成 年 月 日付けで申請がありました資料の撮影及び撮影写真の公開については下記のとおり許可します。

記

1 撮影日時 年 月 日 時～ 年 月 日 時

2 撮影写真の公開方法

3 撮影及び撮影写真を公開する資料

名 称	資料点数	備考

3 その他

撮影中、公開中であっても下記に該当する場合は、撮影及び公開の許可を取り消すことがありますのでご了承ください。

- (1) 申請内容が遵守されなかったとき。
- (2) 申請内容以外の利用があったとき。
- (3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

(4) 熊本県文化企画課松橋収蔵庫の団体利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、学校又は社会教育関係団体等（以下「団体」という。）が熊本県文化企画課松橋収蔵庫（以下「松橋収蔵庫」という。）を博物館資料や文化企画課職員が持つ持つ専門的な知識や能力を活用して活動を行うため利用する場合の手続に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の要件)

第2条 熊本県文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）は、団体から松橋収蔵庫の利用の申請がある場合において、当該申請が次の各号の全てに該当するときは、利用を許可することができる。

- (1) 利用の内容が、資料の収集・整理・保管、調査研究、展示又は学習支援など松橋収蔵庫が行う博物館活動に関係するものであること。
- (2) 松橋収蔵庫の日常業務に支障がないこと。
- (3) 営利を目的としないこと。
- (4) 政治的又は宗教的目的を持ってないこと。

(利用申請)

第3条 松橋収蔵庫の利用を希望する団体は、団体利用申請書（様式第1号）を利用する日の2週間前までに文化企画課長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、松橋収蔵庫の展示見学のみを希望する場合はこの限りではない。

(利用承認の通知)

第4条 文化企画課長は、前条第1項の規定による利用の申請の内容が適当と認められるときは、利用決定通知書（様式第2号）により申請者に通知するものとする。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(様式第1号)

文化企画課松橋収蔵庫団体利用申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長様

(団体の所在地)

(団体の名称)

(代表者氏名)

印

下記のとおり文化企画課松橋収蔵庫を団体で利用したいので申請します。

記

1 利用日時 平成 年 月 日 : ~ :

2 利用目的

・展示説明 ・資料を使った授業 ・体験学習

・その他 ()

3 利用人数

4 内 容

5 利用を希望する施設 (該当するものを丸で囲んで下さい)

1 階ロビー ミーティングルーム 体験学習室

その他 ()

6 担当者の氏名及び連絡先

(氏 名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

7 打ち合わせの希望日時 (資料を使った授業、体験学習等文化企画課職員の指導が必要な場合は必ず記入ください。)

8 その他 (要望事項等)

(様式第 2 号)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長

文化企画課松橋収蔵庫団体利用決定通知書

平成 年 月 日付けで申請がありました文化企画課松橋収蔵庫の団体利用については下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 利用日時 月 日 時 分～ 時 分

2 利用場所

3 内 容

4 その他

(5) 学校・社会教育関係団体等への講師派遣要項

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本県文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）が、熊本の自然や文化に関する専門的な知識能力、文化企画課松橋収蔵庫が収蔵する資料等を活用することを目的とする学校、社会教育関係団体等（以下「学校等」という。）からの依頼により、職員を講師として派遣する場合の手続に関し、必要な事項を定めるものとする。

(派遣の要件)

第2条 文化企画課長は、学校等から講師派遣の依頼がある場合において、当該依頼が次の各号の全てに該当するときは、職員を講師として派遣することができる。

- (1) 資料の収集・整理・保管、調査研究、展示又は学習支援など収蔵庫が行う博物館活動に関係するものであること。
- (2) 営利を目的としないこと。
- (3) 収蔵庫の日常業務に支障がないこと。
- (4) 学校等の所在地又は活動の拠点が本県内にあること。
- (5) 同一の学校等への派遣が同一年度において2回を超えないこと。
- (6) 派遣に要する職員旅費、教材費等の費用を全て学校等が負担すること。
- (7) 政治的又は宗教的目的をもってないこと。

2 前項の規定にかかわらず、文化企画課長が特に必要と認める場合は、学校等からの依頼の内容に応じて職員を講師として派遣することができる。

(派遣の申請)

第3条 学校等において、講師の派遣を希望する者（以下「申請者」という。）は、派遣を希望する日の2週間前までに講師派遣申請書（様式第1号）を文化企画課長に提出しなければならない。

(派遣の承認)

第4条 文化企画課長は、前条の規定による派遣の申請の内容が適当と認められる場合は、講師派遣決定通知書（様式第2号）により申請者に通知を行うものとする。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(様式第 1 号)

講 師 派 遣 申 請 書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長様

名称

所在地

代表者氏名

印

下記のとおり貴所属職員を講師として派遣してくださるよう申請します。
なお、講師の旅費については当方で負担します。

1 派遣日時 月 日 時 分～ 時 分

2 派遣場所

3 対象人数学年等

人 (年生・一般)

4 内容

5 派遣を希望する職員名 (特定されていない場合は記入不要です。)

6 担当者の氏名及び連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 打ち合わせ希望日時

(様式第 2 号)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局
文化企画課長

講 師 派 遣 決 定 通 知 書

平成 年 月 日付けで申請がありました講師派遣については、下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 派遣日時 月 日 時 分～ 時 分

2 派遣場所

3 内 容

4 派遣職員職氏名

5 その他

[文化企画課松橋收藏庫のご案内]



所在地 宇城市松橋町豊福1695
 電話 (0964) 34-3301
 Fax (0964) 34-3302

平成22年度熊本県松橋收藏庫活動報告書

編集・発行 熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課
 熊本市水前寺6-18-1
 (069) 333-2155

発行日 平成23年4月10日
